

(S-10ppm軽油)

環境にやさしい超低硫黄軽油を ご使用の皆様へ

硫黄分が少ない軽油は、排出ガス中の粒子状物質 (PM) などの発生を減少させ、環境の改善に大きく寄与する燃料です。

この燃料は2004年10月から順次給油出来るようになりました。

超低硫黄軽油 (硫黄分10ppm以下) は、全てのディーゼル車にお使いいただける軽油です。

※2005年1月から全国で供給が開始されました。

環境にやさしくするために

日常点検・定期点検を励行して、必要な整備を行い、常に快適な状態を保ちましょう。

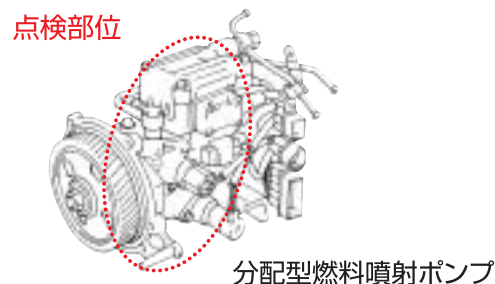
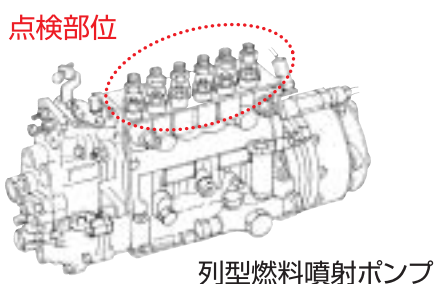
※「S-10ppm軽油」とは、硫黄分が10ppm含まれている軽油で、これまでに

5000ppm (0.5%) → 2000ppm (0.2%) → 500ppm (0.05%) → 50ppm (0.005%) → 10ppm (0.001%)

と段階的に低減されてきています。

長年お使いになったディーゼル車で 超低硫黄軽油を給油したら...

⚠ 長年お使いになったディーゼル車では、念のため、燃料噴射ポンプのまわりを点検してください。(日常点検・定期点検時等)



低硫黄軽油 (S-50ppm軽油) は、2001年から東京都などで試験導入されましたが、7~8年以上使った路線バスの一部で燃料噴射ポンプから軽油にじみが見つかりました。原因はゴム製シール(Oリング)が熱劣化により硬化していたため、エンジンルームの温度が特に高い路線バス特有の問題とされます。

S-10ppm軽油でも同様に、軽油のにじみが発生するおそれがあります。

もし軽油がにじんでいたら、最寄の自動車販売会社等にご相談下さい。

※軽油はガソリンと異なり、極めて引火性が低く、単体で燃えることはありません。